



ともそだち通信 No.36 おうまとジャンプ1月号 平成25年度

発行：日立市教育委員会生涯学習課 家庭教育サポーター
問い合わせ先：0294-23-9157

ともそだち・・・

親と子が共に育ちましょう
親と親も共に育ちましょう
サポーターも共に歩みます

今年^{うま}は午年

馬と言えば、遊園地ではメリーゴーランド、北欧のダーラナホース、ヨーロッパの木馬、日立のご近所では、福島^の郷土玩具の三春駒などが思い浮かびます。お子さんが大好きなロディも馬ですね。

世界の動物玩具の中で最も多いのが馬とも言われます。運輸、農業、あらゆる産業で生活に密着した馬の玩具は、昔から盛んに作られてきました。日本でも、子どもが健康に育つよう願いを込めた馬の人形や玩具が作られてきました。

今の暮らしでは、本物の馬にはなかなか出会えません。それでもおもちゃの世界では身近です。子どもがロディにまたがりジャンプする姿は、パワーがいっぱい。今年も、親子でたくさんたくさん遊びましょう。



家庭教育サポーターのともそだち講演会

『肩の力を抜いて子育て』 「子どもは自ら育つ力を持っています」

講師 柴田愛子先生

日時	平成26年2月22日(土) 午後1時30分～3時
会場	日立シビックセンター 502号室(5階)
対象	未就学児の保護者のみなさん
参加料	無料
定員	50人(抽選)
託児	無料・1～4歳児を40人まで
申込	2月3日(月)まで、直接か電話で

生涯学習課 家庭教育サポーター

(23) 9157へ

愛子先生からの
エールを、あなたも
受け取ってください。



たくさん遊んで大きくなあれ！

—ひとり遊びについて—

ことばや運動機能に発達段階があるように、子どもの遊び方にも、「ひとり遊び、傍観者の行動、平行遊び、連合・協同遊び」と、発達段階があります。

ひとり遊びは、他の子どもと関わりがなくても、遊びの基本です。赤ちゃんが寝ながら手を見ているのも、ひとり遊びの始まりです。1人で遊びながら、子どもは自分の能力や好みを知る経験をしているのです。

お母さん方は、早く友だちと仲良く遊んでほしいと思いがちです。でも1人で遊んでいる時は、自分の能力を試しているのかな、何が好きなのか探しているのかなと、見守ってください。



(日立家庭教育センター・臨床発達心理士 河村由紀先生 親の学び講座より)

<柴田愛子先生 プロフィール>

1948年、東京生まれ。横浜市の「りんごの木」代表。保育歴40年。東京都の私立幼稚園に10年勤務ののち、1982年「子どもの心により添う」を、基本姿勢とした「りんごの木」を発足。以来30年間、子どもと遊び、子どもたちが生み出す様々なドラマをおとなに伝えながら、子どもとおとなの気持ちのいい関係づくりをめざしている。保育、講演、執筆、絵本作りと様々な子どもの分野で活動中。

著書「もっと話したい子育ての楽しさ」

「子どもの『おそい・できない』が気になるとき」ほか多数

絵本「けんかのきもち」第7回日本絵本大賞受賞

「ぼくらのむしとり」ほか多数